

富山県糖尿病診療用指針ワンポイントレッスン



糖尿病 その他の合併症

富山赤十字病院・内科 川原 順子

- 1) 糖尿病性足病変・手病変；神経障害、血流障害、易感染性により、糖尿病性足病変を起こします。外傷以外の足切断原因の1位が糖尿病です。患者さんによる毎日の足の観察、深爪をしない、履物に注意するなどのセルフケアが重要であることをお話してください。軽微な病変であっても治りにくい場合は、皮膚科受診を勧めてください。手指が曲がりにくい、こわばるといった症状が糖尿病からくることがあります。
- 2) 感染症；腎盂腎炎といったコモンディーズでも、自覚症状が乏しいことも合わせて、気腫性腎盂腎炎など重症化した状態で受診することがあります。頻度の多い肺炎の予防として、禁煙、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、口腔内衛生を保つことが重要です。
- 3) 骨粗鬆症；1型糖尿病では骨折のリスクが非糖尿病の6.9倍、2型糖尿病では1.4倍です。病歴が長くインスリン治療をしている方は、コントロール良好な方の1.8倍です。女性に骨粗鬆症を疑っても、男性ではなかなか疑うことが少ないと思います。喫煙、飲酒が加われば、男性でも骨粗鬆症を積極的に疑ってください。骨密度が低下していなくても、糖尿病では骨質が低下し、神経障害や視力低下によって転倒し易い状態です。骨粗鬆症の治療と転倒予防の指導を行います。
- 4) がん；糖尿病では、大腸がん（1.4倍）、肝臓がん（2.0倍）、膵臓がん（1.9倍）のリスクが非糖尿病患者より高いです。肝炎ウイルス陰性、アルコール摂取が無く、現在高度の肥満が無くても、肝臓がんのリスクがあります。進行しない限り自覚症状がありませんので、健診や人間ドックを勧めて下さい。急に血糖コントロールが悪化した場合や、2型糖尿病でも急に発症したと思われる場合、膵臓がんの除外が必要です。禁煙を繰り返し勧めして下さい。野菜や魚を食べるなど若い時からの食生活改善が重要でしょう。
- 5) 歯周病；高血糖は歯周病を悪化させ、歯周病は糖尿病を悪化させるという負のサイクルが起きます。是非かかりつけの歯科医受診を勧めてください。
- 6) 認知症；アルツハイマー型認知症、脳血管認知症ともに、糖尿病では非糖尿病に比べてリスクが2-4倍と報告されています。認知症があると、食事・運動・内服という糖尿病の治療全てに悪影響が及びます。現行の血糖コントロール目標が厳しく無いか、再検討します。低血糖を起こしうる薬剤があればできるだけ少なくします。できるだけ簡単な処方にして、お薬カレンダーの利用や家族の内服確認など服薬コンプライアンスが得られるようにします。